



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月27日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 豊田市十塚町一丁目1番地の1

氏 名 中部電力パワーグリッド株式会社

豊田支社長 遠藤 隆幸

電話番号 0565-35-9780

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中部電力パワーグリッド株式会社 豊田支社 電柱置場
事業場の所在地	豊田市和会町中長1
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	33:電気業
② 事業の規模	資本金:40,000百万円
③ 従業員数	8,988人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 木屑……再生処理業者に委託し、燃料等として再利用 ・ がれき類……再生処理業者に委託し、破碎のうえ再利用

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(保管・処理)

中部電力パワーグリッド株式会社 豊田支社総務グループ

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類-コンクリートくず
	排出量	3.1t	1,027.7t
	(これまでに実施した取組) 発生量そのものを抑制することは難しい状況にあるが、分別作業を徹底し、木くずやコンクリートくずの再資源率を向上させる。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類-コンクリートくず
	排出量	3.0t	1007.1t
	(今後実施する予定の取組) 必要に応じて見直しを行い、継続的な抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別作業を徹底し、木くずやコンクリートくずの再資源率を向上させる
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前述のとおり、継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 ※別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2024年度の産業廃棄物発生量および2025年度の目標

大分類 名称		木くず	がれき類	合計
		木くず	がれき類-コンクリートくず	
2024年度の産業廃棄物発生量(実績)		3.1	1027.7	1030.8
2 0 2 5 年 度 の 目 標	産業廃棄物発生量	3.0	1007.1	1010.1
	自己直接再生利用量	0	0	0
	自己直接埋立処分量又は海洋投入量	0	0	0
	自己中間処理量	0	0	0
	自己中間処理残さ量	0	0	0
	自己中間処理後再生利用量	0	0	0
	自己中間処理後自己埋立処分量又は海洋投入量	0	0	0
	直接委託及び自己中間処理後委託処分量	0	0	0
	委託中間処理量	3.0	1007.1	1010.1
	再生利用量	0	0	0.0
	中間処理による減量	0	0	0.0
	最終処分量	3.0	1007.1	1010.1

小数点第2位を四捨五入